

ワーク・ライフ変革推進室

トークイベント「理工系職員が語る私の仕事と生活」

◆ ワーク・ライフ変革推進室って？

ワーク・ライフ変革推進室は2016年4月に設置されました。多様な人材が能力を発揮し、多様な視点で高い目標に挑戦し、成果を創出する組織へ変革し、職員1人1人の労働生産性の向上を目指しています。

男女がともに尊重し合い、能力を十分に発揮できる環境をつくることで、宇宙航空分野の活力を一層高めます。

また、次世代キャリア支援として、中高生・大学生・大学院生を対象に、交流イベントなどを通して、女子学生の理工系キャリアへのチャレンジを支援します。

◆ どんな取り組みをしているの？

JAXAは2013年10月～2016年3月まで「男女共同参画推進室」を設置し、女性研究者の活躍に取り組んできました。ワーク・ライフ変革推進室では、男女共同参画推進室の取組を継承して女性の活躍推進に取り組むとともに、全ての職員のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けて、働きやすい職場環境を整えることを目指して以下の取組を推進しています。

【女性活躍推進に関すること】

- ・職員向けの意識改革セミナーや、子育てや介護等と仕事の両立支援のための交流会の開催
- ・キャリア形成のためのメンター制度の導入
- ・JAXA女性研究者(ロールモデル)の紹介 等

【職員の働き方変革に関すること】

- ・IT・オフィス環境の整備による時間と場所に縛られない働き方変革の検討
- ・会議や業務の合理化による働き方の改善と残業の削減 等

◆ 室長から一言

ワーク・ライフ変革推進室 室長・向井 浩子

特別公開に来て下さったみなさま
JAXAのプロジェクトの成果や失敗は大きくテレビや新聞に取り上げられますが、個々の職員がどんな研究をしているかはイメージしにくいのではないのでしょうか。トークイベントでは、研究内容を直接聞いていただくとともに、職場の雰囲気も理解いただくために「イクボス」の座談会も企画しました。

特に学生のみなさん、そして保護者の方、JAXAは完璧な職場ではありません。まだまだ変革しなければいけないところが沢山あります。しかし、10年前より、5年前より、確実に良くなっています。

生き生きとした先輩の姿を見て、理工系であれ文系であれ、なりたい自分の姿が浮かんで来れば幸いです。



◆ 女性活躍推進法とJAXAの取り組み

平成27年8月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」が制定されました。

女性が個性と能力を十分に発揮し、活躍するためにJAXAでは以下の行動計画を立てて取り組んでいます。

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画

(H28.4.1～H30.3.1)

【目標】

- ・管理職に占める女性割合を11%以上にする。
- ・役員等意思決定のできる役職に女性の登用を1名以上行う。
- ・教授への女性の採用を1名以上行う。
- ・平均残業時間を3割削減する。

【取組内容】

- ・女性自身が安心してキャリア形成でき、管理職として活躍できる支援体制の構築
- ・総労働時間削減を実現するための制度と環境の整備
- ・ワーク・ライフ・バランスに向けた意識改革

次世代育成推進法に基づく一般事業主行動計画

(H27.5.1～H29.4.30)

【目標】

- ・計画期間内に、年度に発給された年次有給休暇と夏季特別休暇の合計日数の60%を取得できるよう休暇取得を促進する。
- ・計画期間内に、時間外勤務免除を受ける職員の子どもの制限年齢(現行:小学校就学前)を見直すなど育児環境の改善を図る。
- ・ワーク・ライフ・バランスについて職員の理解を深めそれを支援する諸制度の周知徹底をはかる。

JAXAの女性の活躍の状況(平成28年2月時点)

- ◆管理職に占める女性労働者の割合:7.2%
- ◆採用した労働者に占める女性労働者の割合:22.0%
- ◆男女の平均継続勤務年数の差異:74.9%
(平成26年度集計、任期制職員・管理職・裁量労働制適用者を除く)

◆ ワーク・ライフ・バランスが実現した社会とは

「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」と定義されています。

(ワーク・ライフ・バランス憲章(内閣府)より)

◆ もっと詳しく知りたい人のために

<http://stage.tksc.jaxa.jp/geoffice/index.html>

理工系職員が語る私の仕事と生活

トークイベント

「理工系職員が語る私の仕事と生活」

～理工系職員が自身の仕事・生活・キャリアについて語ります～
進路選択・職業選択の参考にどうぞ

日時：7/29(金)・7/30(土) 13:15-13:45 / 14:15-14:45 / 15:00-15:30

場所：相模原市立博物館地下大会議室

7/29(金) 登壇者紹介

【ワーク・ライフ変革推進室活動紹介】 JAXAワーク・ライフ変革推進室副室長 **杉田 尚子 (すぎた なおこ)**
1995年宇宙開発事業団入社、国際契約、国際宇宙ステーション・地球観測の国際調整業務等に従事。米国での長期派遣研修、文部科学省を経て、日本の宇宙政策史の研究で博士号を取得。現在は、国外の宇宙動向の調査分析業務と共に、働き方変革と女性活躍を推進。



①13:15-13:45 「イクボス」座談会

★ISAS宇宙飛行工学研究系教授 / 宇宙探査イノベーションハブ (TANSAX) ハブ長 **國中 均 (くになか ひとし)**
1983年3月、京都大学工学部航空工学科卒業。1988年3月、東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。同年4月、文部省宇宙科学研究所助手。2000年1月、同助教授。2005年4月より同教授。2012年9月、はやぶさ2プロジェクトマネージャ。2015年4月、現職。工学博士。東京大学大学院工学系研究科学際工学教授併任。2010年度文部科学大臣特別賞受賞。著書に「イオンエンジンによる動力航行」コロナ社。



★ISAS科学推進部部長 **佐々木 宏 (ささき ひろし)**

1987年宇宙開発事業団入社、有翼往還機(HOPE)の研究、ロケットエンジン(LE-7)の開発等、宇宙輸送系研究開発に従事。1998年にHTVプロジェクトチーム所属。2002年HTVプロジェクトサブマネージャー、2013年経営企画部次長を経て、2015年から現職。娘二人(大学生、中学生)の父。



★ISAS宇宙物理学研究系教授 **堂谷 忠靖 (どうたに ただやす)**

1990年より宇宙科学研究所勤務。中性子星やブラックホールを始めとするエックス線天体の研究を行うとともに、科学衛星搭載用のエックス線検出器の開発研究を行う。2014年より宇宙物理学研究系主幹。娘一人(小3)。



★ISAS宇宙機応用工学研究系教授 / ワーク・ライフ変革推進室協力員 **橋本 樹明 (はしもと たつあき)**

1990年より宇宙科学研究所勤務。科学衛星の姿勢軌道制御系の研究開発に従事。2007年～2015年に月着陸探査計画SELENE-2の検討チーム長、2012年～2015年に宇宙機応用工学研究系研究主幹を務める。宇宙探査イノベーションハブ併任。18歳の息子と8歳の娘の父。

②14:15-14:45 科学衛星運用・データ利用ユニット **長谷川 晃子 (はせがわ あきこ)**

2007年JAXA就職。各科学衛星の運用調整を支え続けて数年。現在は、科学衛星運用ネットワーク、伝送にも携わる。

③15:00-15:30 研究開発部門第一研究ユニット / PLANET-Cプロジェクトチーム **廣瀬 史子 (ひろせ ちかこ)**

修士課程修了後、2004年JAXA就職。スペースデブリの観測・衝突解析等を行い、現在金星探査機「あかつき」の軌道計画に携わる。



7/30(土) 登壇者紹介

【ワーク・ライフ変革推進室活動紹介】 JAXAワーク・ライフ変革推進室室長 **向井 浩子 (むかい ひろこ)**

1987年宇宙開発事業団入社。ロケットや人工衛星の発注契約、財務諸表の作成等に携わる。現在は、評価・監査部長としてJAXAの独法評価や内部監査業務と共に、働き方変革と女性活躍を推進。

④13:15-13:45 研究開発部門第二研究ユニット / ジオスペース探査衛星プロジェクトチーム **柴野 靖子 (しばの やすこ)**

修士課程修了後、2012年JAXA就職。科学衛星の熱設計、熱制御材の研究、ISSでの曝露実験に携わる。

⑤14:15-14:45 研究開発部門第一研究ユニット / 観測ロケット実験グループ **宮澤 優 (みやざわ ゆう)**

修士課程修了後、2012年JAXA就職。科学衛星の電源系機器開発、観測ロケットに携わる。

⑥15:00-15:30 ISAS太陽系科学研究系助教 **大竹 真紀子 (おおたけ まきこ)**

月周回衛星「かぐや」観測機器開発を経て、現在、月科学研究、将来の月惑星探査に向けた検討、「かぐや」データ校正処理、「はやぶさ2」機器開発に携わる。

